**一　次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。**

　　　　　　「羅生門」本文（冒頭部分）

　　　　「羅生門」語注

芥川龍之介　著　「羅生門」　昭和二十四年九月二十四日発行　「芥川龍之介全集１」より抜粋

🈩　この場面での「アイテム」の効果について考え、次の問いに答えなさい。

問１　下人がどのような状況に置かれ、どのような気持ちや考えをもっているか本文を引用しながら説明しなさい。

問２　問１を読み取るためにどの「アイテム」に着目して文章を読み進めましたか。またその「アイテム」に着目した理由を説明しなさい。

問３　問２で説明した「アイテム」はこの場面でどのような役割を果たしているか説明しなさい。

正答の条件（Ｂ評価）

問１　下人の**置かれた状況を把握**し、その**心情について本文を引用しながら説明している**。

問２　本文中の**どの「アイテム」に着目したか**と**着目した理由**について説明している。

問３　本文中の「**アイテム」が作品にもたらす効果**について説明している。

Ｂ評価の例

問１　**下人は長年仕えた主人から暇を出され、明日の暮らしもままならない状況**にあり、**生きていくためには盗人になるしかない**と思いつつも、結論が出せずにいる。

問２　私は作中の**雨に着目**して文章を読み進めた。理由は**様々な表現を用いて繰り返し描写されていた**からだ。

問３　**作中の雨は犯罪に手を染めなければならない下人の思い悩む暗い気持ちを表す役割**を担っているのではないかと思う。

評価問題出題の意図

・生徒に「読みの観点」（重要な「アイテム」に着目することで物語の主題に迫る）が定着したかを図ることを目的として文章を選出した。本文は登場人物が一人であり、語りも多く含まれていることから「アイテム」の効果と下人の心情との関係をとらえやすいと考えたため、評価問題に設定した。

・文章量を適切なものとするため、小説の一部を抜粋する必要があった。そこで小説の一部を切り取ったとしても、場面の設定や雰囲気が読み取りやすい文章である本文を評価問題に設定した。

・広島県公立高校の入試問題の物語文や全国学力・学習状況調査の問題には本評価問題のように生徒に馴染みが薄い言葉を用いた文章も選ばれている。ここから、私たちのグループでは生徒へ幅広い年代の優れた作品に親しませることが求められているのだと解釈した。これに対応するために中学校の学習にも意図的にこのような文章を取り入れる必要を感じたため評価問題に設定した。